

数馬酒造株式会社

所在地：石川県鳳珠郡能登町 設立：1951年 資本金：3,000万円 従業員数：17名
事業概要：清酒製造・販売（清酒・醤油、リキュール製造・小売）

「社員さんの時間を大切にする」を掲げ 1869年創業の老舗が取り組む醸造現場改革



代表取締役
数馬 嘉一郎

取組の内容

- 「専門技術集団（蔵人）が季節労働者として、約半年間住み込みで、少ない休日、長時間勤務を経て酒造する」という従来の働き方に疑問を覚え、働き手主体の醸造体制へ改革するため取組を実施。
- 若い世代の価値観を取り入れるため、20代・30代の社員チームによる酒造を開始。責任者にも当時20代の社員を起用。
- 醸造従事者を季節雇用から通年雇用へ切り替え、正社員として採用。
- 醸造スケジュールや作業工程の見直し、スマートフォンで遠隔から醸造現場の温度確認ができる設備の導入により、従来行われていた早朝・深夜作業や泊まり込みの醸造現場管理を廃止。「土日休み」の醸造現場を実現。
- 時短勤務制度を導入したほか、同地域の異業種経営者を季節雇用、週3~4日の勤務体制で採用。
- 社員の女性比率は6割強。従来男性が中心であった醸造現場にも女性を起用。
- これらの改革の内容をホームページでレポート化し、積極的に情報発信。

取組の効果

- 若い世代や異業種経営者、女性の視点が新たに加わり、今までと異なる視点で改善箇所を発見。
- 醸造従事者が通年雇用となったことにより、改善点の議論などに腰を据えて取り組めるようになり、部署の垣根を越えた社内のチームワークや社員の主体性が向上した。
- ワークライフバランスが保たれ、社員が心身ともに健康に働けることで社員エンゲージメントも向上し、生産性や品質の向上につながる新たな提案が社員から生まれた。
- これらの取組により、採用においては若い人材からの応募が増加したほか、定着率も向上している。